令和6年度
全国学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市教育委員会
令和6年10月

はじめに

令和6年度の全国学力・学習状況調査は、令和6年4月18日に実施され、7月26日に国から公表されました。本調査の対象は小学校6年生と中学校3年生の児童生徒で、調査内容は、小学校で国語・算数、中学校で国語・数学であり、併せて児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

泉佐野市ではこれまで、子どもたちの「生きる力」をはぐくむために、学びに向かう力や人間性等の涵養、生きて働く知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、また豊かな心や健やかな体の育成等をめざすとともに、一人ひとりの児童生徒の相互理解の促進や障がいのある児童生徒の社会参加と自立をめざし「ともに学び、ともに育つ」教育の充実をめざしてきました。とりわけ子どもたちの学力向上に関しては、各学校における教育活動の質を向上させるとともに、ICTを効果的に活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めるよう、研究を進めているところです。

以上のことを実現するためには、学校だけでなく、保護者・地域の方々に本市の子どもたちの現状を理解していただき、学校・家庭・地域が連携し、それぞれの立場から子どもたちに関わることが重要であると考えています。そこで、泉佐野市教育委員会としては、子どもたちの「確かな学力」の育成を図るために、本年度も本市児童生徒の全国学力・学習状況調査結果を分析し、この報告書にまとめました。

本調査結果は、子どもたちの学力や学習状況、生活状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎませんが、分析から明らかになった成果と課題をもとに、子どもたち一人ひとりが「わかった」と実感できるような授業が実施されるよう、各学校が授業改善を進めるとともに泉佐野市教育委員会として今後の教育施策のために検証改善を行いたいと考えています。

最後になりましたが、本市の教育行政ならびに学校の教育活動に、引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年10月

泉佐野市教育委員会
教育長 奥 真弥

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和6年4月18日(木)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童	実施児童数 (722人)
中学校第3学年、全生徒	実施生徒数 (650人)

4. 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語及び数学とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

小 学 校

(令和6年4月18日実施722名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
児童質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)
- ⑦マイノートを活用して、振り返る習慣をつけましょう。

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率（泉佐野市 63／大阪府 66／全国 67.7）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することに課題がある。 1一学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する (56.6/62.5)</p> <p>【書くこと】 ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることは概ねできている。 2一（1）高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したのとして、適切なものを選択する (74.9/80.3)</p> <p>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 2二【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く (48.3/56.6)</p> <p>【読むこと】 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。 3二（1）「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する (61.1/66.9)</p> <p>○人物像を具体的に想像することに課題がある。 3二（2）【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する (65.2/72.5)</p>	<p>○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。 3三【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く (67.0/72.6)</p> <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。 3一【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する (55.1/62.3)</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことは概ねできている。 2一（2）【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したのとして、適切なものを選択する (80.9/86.9)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことに課題がある。 3四【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する (65.7/74.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	54.3	62.0 (60.1)	◇	7.7
国語の勉強は大切だと思いますか	91.4	94.5 (92.7)		3.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.4	86.3 (87.1)		1.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	93.2 (91.7)		1.8
国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか	76.3	78.3 (78.0)		2.0
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか	79.3	80.0 (79.6)		0.7
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	80.3	83.2 (82.0)		2.9
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	80.9	84.4 (83.4)		3.5
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」	72.4	79.1 (75.7)	◇	6.7
解答時間は十分でしたか（国語） ※「時間が余った」「ちょうどよかった」を合わせた時間	60.6	68.5 (68.0)	◇	7.9

○「国語の学習は好きだ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて減少したことに課題がある。

(R5 57.3)

○「国語の勉強は大切だと思う」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。

(R5 92.3)

○「国語の授業はよく分かる」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と思う児童の割合が、昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。(R5 91.9)

○国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていることは評価できる。

○国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していることは評価できる。

○解答を文章で書く問題について、昨年度と比べて減少し課題がある。(R5 76.5)

○解答時間は十分と感じている児童の割合に課題がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
			(1)	(2)	(3)	A	B												
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5-6ア				○	○			56.6	59.9	62.5	0.7	0.8	0.7
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5-6イ							○	○			75.1	74.0	75.9	0.8	0.7	0.6
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5-6ウ				○	○			53.0	50.1	52.9	0.8	0.8	0.7
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したのとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5-6ア				○	○			59.0	61.9	63.8	1.2	1.1	0.9
2一(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したのとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				5-6ア				○	○			74.9	78.1	80.3	1.8	1.0	0.9
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したのとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5-6イ							○	○			80.9	85.5	86.9	1.7	1.1	0.9
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5-6ウ				○	○			48.3	53.7	56.6	5.5	5.0	4.9
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(並ぶよう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5-6エ							○	○			42.1	41.4	43.4	13.3	12.8	13.2
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)		5-6エ							○	○			71.1	76.1	76.0	11.4	7.5	8.0
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	3-4カ							○	○			55.1	61.9	62.3	4.7	2.2	2.0
3二(1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけていると考えられるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				5-6イ				○	○			61.1	65.4	66.9	5.8	2.9	2.6
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に注目したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる				5-6エ				○	○			65.2	70.9	72.5	6.4	3.2	2.9
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる				5-6エ				○	○			67.0	70.8	72.6	17.3	12.9	12.6
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる	5-6オ							○	○			65.7	72.6	74.6	13.7	8.0	7.6

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

平均正答率、正当数の分布に全国や大阪府との大きな差異はない。しかし、正当数15、16問にあたる最上位層は全国や府に比べるとやや少なく、正当数4問以下の下位層がやや多い。その部分が少しの差に表れている。

平均正答率（泉佐野市 60／大阪府 63／全国 63.4）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題がある。</p> <p>1（1）問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ (59.4/62.1)</p> <p>○数量の関係を、□を用いた式に表すことが概ねできている。</p> <p>1（2）はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ (88.1/88.5)</p> <p>○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。</p> <p>2（1）$350 \times 2 = 700$であることを基に、350×16の積の求め方と答えをかく (56.9/56.9)</p> <p>【図形】</p> <p>○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解に課題がある。（全国と5ポイント以上の差が見られる）</p> <p>3（2）円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ（65.0/71.3）</p> <p>○球の直系の長さ、立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。（全国と5ポイント以上の差が見られる）</p> <p>3（3）直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く（30.9/36.5）</p>	<p>【変化と関係】</p> <p>○道のりが等しい速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>4（3）家から学校までの道のりが等しく、かかった時間の異なる2人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけをかく (29.4/31.0)</p> <p>【データの活用】</p> <p>○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>5（3）折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く (39.7/44.0)</p> <p>○示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することに課題がある。</p> <p>5（4）示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く (46.5/49.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	57.2	61.0 (59.3)		3.8
算数の勉強は大切だと思いますか	93.7	94.6 (93.0)		0.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.9	82.1 (83.1)		0.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.0	94.1 (92.8)		1.1
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.9	77.9 (74.9)		1.0
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	82.0	83.3 (81.2)		1.3
算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	66.6	63.6 (63.3)		3.0
算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	82.2	84.6 (81.9)		2.4
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」	75.1	78.7 (76.7)		3.6
解答時間は十分でしたか（算数）	81.0	84.2 (84.0)		3.2

- 「算数の勉強が大切だと思いますか」に対する肯定的回答の児童の割合が多いことは評価できる。
(R5 94.0)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的回答の児童の割合が府を上回っており、評価できる。
(R5 92.4)
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的回答の児童の割合が府を上回っており、評価できる。
- 「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている」に対する肯定的な回答の児童の割合が府、全国平均を上回っていることは評価できる。
- 「解答時間は十分でしたか」に対する肯定的回答の児童の割合のポイントが他のアンケート項目に比べ、府、全国平均を下回っていることに課題がある。
(R5 84.4)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用			貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2(2) ア(2)					○	○	59.4	61.1	62.1	0.3	0.2	0.2
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	3(7) ア(7)					○	○	88.1	88.1	88.5	0.4	0.3	0.3
2(1)	$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(3) イ(7)					○	○	56.9	56.1	56.9	3.5	3.6	3.4
2(2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5(3) ア(7)					○	○	67.0	68.3	69.1	1.5	1.4	1.3
3(1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	4(2) ア(7)					○	○	83.9	84.8	85.5	1.1	0.7	0.6
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	5(1) ア(2)					○	○	65.0	69.9	71.3	0.7	0.9	0.8
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	3(1) ア(7)					○	○	30.9	34.5	36.5	10.1	9.8	9.8
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	5(2) ア(7)					○	○	67.4	71.8	72.0	2.1	1.9	1.8
4(1)	$540 \div 0.6$ を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5(3) イ(7)					○	○	67.7	70.0	70.1	4.6	3.1	3.1
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる		5(1) イ(7)				○	○	67.4	70.5	70.0	3.9	3.4	3.3
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		5(2) ア(7)				○	○	29.4	29.2	31.0	3.6	2.4	2.4
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる		5(2) ア(7)				○	○	50.8	53.0	54.1	5.3	4.3	4.6
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる					5(1) ア(7)	○	○	75.7	80.6	80.8	2.8	1.9	1.8
5(2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる					3(1) ア(7)	○	○	69.2	71.4	73.3	5.7	4.2	3.9
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる					3(1) イ(7)	○	○	39.7	43.3	44.0	15.5	12.6	12.6
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる	2(1) イ(7)					○	○	46.5	48.3	49.3	6.5	4.0	4.0

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率>（大阪府回答率）
【自分自身について】	○困っている人を進んで助ける割合は、全国を下回っている。	○人が困っているときは、進んで助けていますか <87.0/92.7> (91.5)
【家庭学習の様子】	○放課後や週末に家で勉強や読書をしている割合は、全国を下回っている。	○放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択） 「家で勉強や読書をしている」の回答 <41.4/49.3> (41.1)
【家庭生活の様子】	○平日に1日4時間以上、ゲームをしている割合は、全国を上回っている。 ○平日に1日4時間以上、動画を視聴している割合は、全国を上回っている。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 「4時間以上」の回答 <28.2/17.7> (23.0) ○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） 「4時間以上」の回答 <19.1/11.9> (16.6)
【学校での生活の様子】	○先生や学校にいる大人にいつでも相談できる割合は、全国を上回っている。	○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか <73.0/67.1> (71.9)
【学校での学習の様子】	○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した割合は、全国を下回っている。 ○5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると感じている割合は、全国を下回っている。	○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 「ほぼ毎日」「週3回以上」の合計回答 <33.2/59.5> (50.2) ○5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる <80.4/85.5> (81.4)

	<p>○5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると感じている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる</p> <p style="text-align: right;"><79.1/86.1> (82.7)</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか</p> <p style="text-align: right;"><75.7/81.3> (79.0)</p>
--	--	---

中 学 校

(令和6年4月18日実施650名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
生徒質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に興味を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥テレビゲームは時間を決めてするようにしましょう。(1日1時間以内を目安に)
- ⑦マイノートを活用して、振り返る習慣をつけましょう。

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

- ・正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率(泉佐野市 53 /大阪府 57 /全国 58.1)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることに課題がある。</p> <p>1 一話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する (57.0/63.2)</p> <p>○話し合いの話題や展開を捉えながら、他社の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>1 四話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く (34.7/44.7)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。</p> <p>2 一本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する (27.4/36.3)</p> <p>○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることに課題がある。</p> <p>3 一物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する (76.3/81.4)</p> <p>○表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。</p> <p>3 四表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する (40.7/49.3)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることに課題がある。</p> <p>2 三本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものそれぞれを選択する (58.6/64.5)</p> <p>○目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。</p> <p>2 四本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する (35.1/42.6)</p> <p>○短歌の内容について、描写を基に捉えることに課題がある。</p> <p>4 二短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える (42.8/48.3)</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <p>○意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題がある。</p> <p>1 三話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する (39.9/44.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	64.1	64.3 (65.2)		0.2
国語の勉強は大切だと思いますか	93.0	93.9 (92.9)		0.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.2	82.7 (84.8)		1.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.3	90.6 (89.3)		0.3
国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	79.6	78.7 (80.2)		0.9
国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	79.0	80.5 (81.3)		1.5
国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	78.8	76.7 (78.1)		2.1
国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	82.4	82 (82.7)		0.4
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	62.3	72 (69.4)	◇	9.7
解答時間は十分でしたか（国語） ※「時間が余った」「ちょうどよかった」を合わせた割合	76.1	74.5 (77.5)		1.6

- 「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が、高い割合であることは評価できる。(R5 91.1)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が、高い割合であることは評価できる。(R5 87.5)
- 「今回の国語の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合の全国との差が大きいことは課題である。(R5 64.9)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)					
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと												
1一	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1 エ				○	○			57.0	60.9	63.2	1.1	0.3	0.4	
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる				2 ウ				○	○			64.6	68.6	68.5	6.2	4.0	3.5	
1三	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	1 ア						○	○				39.9	43.8	44.0	1.1	0.4	0.5	
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1 オ			○		○			34.7	39.6	44.7	14.9	12.4	9.9	
2一	本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる				2 ウ			○	○				27.4	36.0	36.3	1.5	0.4	0.5	
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	2 ア						○	○				71.5	75.0	75.2	1.4	0.5	0.6	
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる				2 ア			○	○				58.6	63.0	64.5	1.2	0.5	0.6	
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる				1 ウ			○		○			35.1	40.3	42.6	12.0	9.6	8.4	
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したのとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				1 ア			○	○				76.3	79.9	81.4	1.1	0.6	0.7	
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したのとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる	2 オ						○	○				51.6	53.4	53.8	1.2	0.9	1.0	
3三	漢字を書く(みちたりた)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2 ウ						○	○				64.7	68.2	68.8	13.4	10.6	10.2	
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる				2 ウ			○		○			40.7	46.7	49.3	24.8	17.1	15.0	
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したのとして適切なものを選択する	表現の技法について理解しているかどうかをみる	1 オ						○	○				56.9	55.7	54.9	2.0	1.1	1.8	
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える	短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				1 イ			○	○				42.8	49.4	48.3	5.7	3.0	3.4	
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解しているかどうかをみる				1 エ(イ)			○	○				75.5	75.8	75.6	2.5	1.4	2.3	

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べ上位層がやや少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。

平均正答率(泉佐野市 47 /大阪府 51 /全国 52.5)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算が概ねできている。</p> <p>6（1）正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める (84.5/90.2)</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>6（2）正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する (30.3/35.9)</p> <p>○統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>6（3）正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する (32.8/41.8)</p> <p>【図形】</p> <p>○筋道を立てて考え、証明することに課題がある。</p> <p>9（1）点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、AQ=PBであることを、三角形の合同を基にして証明する (18.5/25.8)</p>	<p>【関数】</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>8（2）18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する (11.1/17.1)</p> <p>○一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解することに課題がある。</p> <p>4一次関数$y = ax + b$について、$a = 1$、$b = 1$のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ (59.1/65.3)</p> <p>【データの活用】</p> <p>○複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>7（2）車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する (16.9/25.9)</p> <p>○複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することことに課題がある。</p> <p>7（3）車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ (46.5/48.5)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	57.7	57.2 (59.2)		0.5
数学の勉強は大切だと思いますか	83.4	87.2 (86.4)		3.8
数学の授業の内容はよく分かりますか	80.0	75.7 (79.2)		4.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.4	78.5 (78.5)		2.1
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	59.1	57.2 (58.8)		1.9
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	78.1	78.1 (78.5)		0.0
数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	49.6	46.0 (48.7)		3.6
数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	74.3	77.0 (75.8)		2.7
今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」	41.1	50.0 (47.9)	◇	8.9
解答時間は十分でしたか（数学）	77.9	73.6 (78.4)		4.3

- 「数学の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は、高い割合であることは評価できる。 (R5 86.8)
- 「数学の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。 (R5 78.9)
- 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合は、全国よりも下回っており、課題がある。 (R5 77.3)
- 「数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている」と感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。
- 「数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている」と感じている生徒の割合は、全国よりも下回っており、課題がある。
- 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が、全国や府よりも下回っており、課題がある。
- 解答時間は十分でだと感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。 (R5 79.3)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	2(1) 7(4)				○				○			33.2	34.7	34.8	24.3	16.1	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	2(1) 7(2)				○				○			49.2	52.6	52.5	13.7	11.0	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点对応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ	回転移動について理解しているかどうかをみる	1(1) 7(4)				○				○			63.5	67.5	68.3	0.6	0.4	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ	一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる				2(1) 7(7)	○				○			59.1	63.8	65.3	1.8	0.7	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる				2(2) 7(4)	○				○			68.2	72.8	73.1	6.5	4.8	4.2
6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	1(1) 7(4)				○				○			84.5	89.3	90.2	6.0	3.5	2.5
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) 4(4)				○				○			30.3	35.6	35.9	32.2	26.1	23.5
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1) 4(4)				○				○			32.8	39.6	41.8	43.1	33.4	29.6
7(1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる				6(6) 7(7)	○				○			65.2	73.0	74.3	10.5	7.0	5.8
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) 4(7)	○				○			16.9	22.3	25.9	42.9	34.7	29.4
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる				2(1) 7(7)	○				○			46.5	45.0	48.5	1.4	0.9	0.9
8(1)	ストップの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) 7(7)	○				○			79.2	81.2	83.4	1.5	0.8	0.8
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストップの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) 4(4)	○				○			11.1	16.8	17.1	21.8	18.3	16.4
8(3)	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストップの設定の組み合わせとその使用時間を書く	グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) 7(7)	○				○			68.6	74.0	76.9	7.7	4.8	3.8
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくる時、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる	2(2) 4(4)				○				○			18.5	27.0	25.8	43.7	35.2	33.6
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくる時、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる	2(2) 7(4) 4(7)				○				○			22.2	26.9	26.7	5.8	3.2	4.5

令和6年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率> (大阪府回答率)
【自分自身について】	○将来の夢や目標を持っている割合は、全国を下回っている。	○将来の夢や目標を持っていますか <61.3/66.3> (64.0)
	○学校に行くのは楽しいと思う割合は、全国を下回っている。	○学校に行くのは楽しいと思いますか <78.4/83.8> (82.5)
【家庭生活の様子】	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている割合は、全国を下回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <74.9/80.7> (80.2)
	○普段、1日当たり、テレビゲームを4時間以上行っている割合は、全国を上回っている。	○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか 4時間以上<32.8/16.6> (22.8)
	○普段、1日当たり、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを4時間以上行っている割合は、全国を上回っている。	○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く) 4時間以上<30.9/18.2> (24.7)
	○放課後や週末に学習塾など学校や家以外の場所で勉強している生徒の割合は、全国を上回っている。	○放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか(複数選択) 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している <44.8/38.5> (43.7)
	○放課後や週末にスポーツをしている生徒の割合は、全国を下回っている。	○スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている <20.2/30.4> (25.1)

	○家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用したりしている生徒の割合は、全国を下回っている。	○家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用したりしている <82.4/88.6> (84.5)
【家庭学習の様子】	○学校の授業時間以外に、普段3時間以上勉強している生徒の割合は、全国を上回っている。 ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり3時間以上勉強している生徒の割合は、全国を上回っている。 ○家にある本が10冊以下の生徒の割合は、全国を上回っている。	○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 3時間以上<15.2/9.2> (12.5) ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 3時間以上<22.8/15.5> (15.5) ○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く） 0～10冊<32.0/18.0> (22.8)
【学校での生活の様子】	○人が困っているときは、進んで助ける生徒の割合は、全国を上回っている。 ○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる生徒の割合は、全国を上回っている。 ○放課後や週末に学校の部活動に参加している生徒の割合は、全国を下回っている。	○人が困っているときは、進んで助けていますか 当てはまる<44.4/38.3> (38.3) ○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか 当てはまる<33.7/28.7> (31.5) ○放課後や週末に何をしてお過ごしことが多いですか（複数選択） 学校の部活動に参加している<62.5/71.1> (65.9)
【学校での学習の様子】	○1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用した割合は、全国を下回っている。	○1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか「ほぼ毎日」「週3回以上」の合計回答 <58.3/64.4> (56.9)